

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター歩路			
○保護者評価実施期間	令和7年12月15日		～	令和8年1月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和7年12月15日		～	令和7年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月15日		～	令和7年12月24日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	15	(回答数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・「事業所の支援への満足度」について、事業所の強みだと考えます。	・日頃から、訪問先施設からの質問や問い合わせに対して、迅速かつ丁寧に対応し、相談しやすい関係づくりに努めています。 ・訪問支援実施後は訪問先施設での様子や先生方とやりとりした内容について、ご家族への丁寧な説明に努めています。	・訪問支援を提供した際には、訪問先施設が知りたいことや困り感等の確認を行い、必要な支援の提供ができるよう、訪問支援員の質・技術の向上に努めます。また、訪問先施設の意見や方針等を尊重しながらやりとりを行い、信頼関係の構築に努めます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問先施設での課題や困りごとの軽減につながるような支援の提供(助言)について、課題があります。	・訪問先施設へ助言を行った際、訪問先施設が実際に取り組めそうな支援であるか、取り入れられそうな場合、どれくらいの頻度で支援が提供できそうか等、丁寧なアセスメントが必要です。また、訪問先施設が支援を取り入れた結果、実際のこどもの様子や変化、支援提供時の課題等についてのモニタリングが不足しています。	・訪問支援実施後の訪問先施設での支援の経過についての把握に努めます。
2	・訪問時に使用した教材の説明や訪問先施設の意向等について、ご家族の理解に繋がるような説明が必要と考えます。	・訪問施設先での様子、助言した内容等を中心にご家族へ説明を行っていますが、訪問先施設の意向や使用した教材等についての説明が十分ではなかったと考えます。	・訪問時に使用した教材等があった場合や訪問先施設の意向について、ご家族へ丁寧な説明を行います。また、説明で不足している点はなかったか確認を行い、サービスの質の向上に繋がります。
3			